

10月1日(日)の「憲法九条を話し合う会」に25名が参加

10月1日、れすとらん“ばびよん”さんで開催された「ビデオを見て憲法九条を話し合う会」には、事務局員を含め25名が参加。ビデオ『憲法9条は訴える』(コメディアン松元ヒロのコント、井上ひさしや澤地久枝、九条の会事務局員小森陽一などのお話のビデオ、43分間)を見たあと、全員で最近の世相、教育、経済、国際政治、戦争と平和、憲法改正、憲法9条について、真剣で和やかな意見交換、ビデオの貸し出しや憲法関連の本の販売などで4時に終了いたしました。おもな意見は次のとおりです。



◆私はいずれ、こういう憲法の危機の時が来ると考えていました。20年以上前、原町で仲間と護憲運動を行い行政を動かしてきました。平和運動は上からでなく、足もとからの運動で自治体も組み込んでいかなければなりません。

◆原町市議会では「憲法を改正させない宣言」の議決は一度否決されていますが、草の根の運動で市民の署名を集めて、今度は南相馬市議会でも「憲法を改正させない宣言」を議決させたいものです。

◆私は昭和2年生まれですが、憲法発布の日の昭和22年5月3日のことをよく覚えています。新憲法ができたことと喜んだ見知らぬ老人が食べ物もないあの時代に、スルメを持ってきて勧めたことを思い出します。6月の澤地久枝さんの講演会の話はよかったです。あのように女性も淡々として、でもしっかりと強く憲法を守らなければなりませんね。女性の役割も大きいと思います。



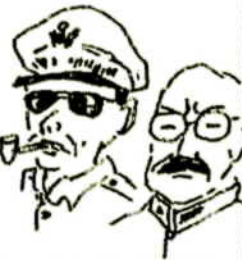
◆一般の方に「九条を守ろう」と言うと、天皇のいる宮城?とか、野球場?とか、よく九条を理解していない。学校でしっかり憲法や現代史を教えていないのではないかと。

◆学校の授業で現代史も憲法も暗記させたりしてきちんと教えている先生もいます。でもたしかに先生の指導に差はあるのも事実で、学校の先生の責任も大きいですね。

○単に「憲法は古いから新しく改正しよう」とか、「時代に合わない」という程度の認識では困ります。マスコミに負けないような私たちの運動にしなければいけないと思います。

○甥がやってきて、「九条の会」のポスターを見て「これ何?」と質問したので、「憲法を守って日本が戦争をしない国にするためのポスターだよ」と説明してやりました。

◆20年以上前の相良さんや古山さんたちの「原町憲法を守る会」が行政を動かして、市政便りに憲法の条文を掲載させたり、記念日にサイレンを鳴らしたり、憲法記念日の風船パレードなどの運動を私は見ていました。それが今の九条の会のお手本になっています。だから年配の私たちの「九条の会」活動を、今の若者たちがじっと見ているかもしれません。



○日本が外国から攻められたらどうするの、というような素朴な考えで軍隊も戦争も認めてしまう人が多いんですね。どう説明したらいいのでしょうか。

○反対の考えの人々を説得する論理を準備しておくかなくてはいいけませんね。

◆たとえば北朝鮮が日本の原発を攻撃したら、どんな防御でも無意味です。そもそも現代はもう戦争で解決することは不可能な時代なのに、まだ懲りないで戦争論を語っているのです。全く空しい議論です。

○父はシベリアに抑留される直前に危機一髪で集団で脱走して生き延びてきたという体験をもっています。憲法九条は理屈でなく、当然のことです。

○私の父も戦争に行った。今この憲法があるから守られていると思います。でもこれからどうやって憲法を守り平和な生活を守ってよいのか分かりません。

○私の父も戦争の体験があります。私はあまり憲法九条のことを知らないで入会しましたが、とにかく我が子には戦争の体験なんかさせたくありません。



◆戦争をすると誰かが儲かるようになっている。だから戦争はなくならない。特にアメリカは10年に一回戦争しないと武器がたまってしまい軍需産業が困る体質で、9・11テロもやらせだ、という説もあります。そのアメリカに盲従している日本も情けない。国際社会の中で基本的な生き方を確立するのが真の「国際化」で、無宗教的な日本こそ東西の架け橋になり、日本こそ世界一の軍事大国アメリカをコントロールする国になるべきです。

事務局でまとめましたが、聞き違いや誤りがあれば、お許しください!

◎2時間の長い時間、ありがとうございました。「九条の会」は上からの指令で活動するのではなく、全国5,000の会がそれぞれ地域と力に応じた活動をすればよいと思います。これからも試行錯誤の「はらまち九条の会」ですが、知恵を出し合い、皆様力を結集して活動していきましょう。(会終了後の懇親会には14名が参加しました。)



映画「日本の青空」製作委員会ニュース

No. 2

ようやく秋晴れの過ごしやすい季節となりました。「日本の青空」製作委員のみなさまはお元気でご活躍のことでしょう。さて、大変お待たせいたしました。キャストが決定しました。

鈴木安蔵・高橋和也・藤谷美紀の3人を紹介します！



高橋和也
(鈴木安蔵)

1988年、バンドグループ“男闘呼組”として、音楽デビュー。93年解散後は、映画、ドラマ、舞台、音楽活動等、幅広くご活躍です。最近では、NHK「連続テレビ小説『純情きらり』」や、現在公開中の映画「出口のない海」に出演。そのほか「少年H」などの舞台にも数多く出演されています。また、話題の韓流ドラマでは、人気俳優の吹き替えでもおなじみです！！実力派として注目を浴びている俳優さんです。



藤谷美紀
(鈴木俊子)

1987年、「第一回全日本国民的美少女コンテスト」グランプリ受賞。その後、テレビ、映画、舞台などで、ご活躍です。最近では、井上ひさし原作の舞台「東京裁判三部作 第三部 夢の痲(かさぶた)」に出演。映画「草の乱」、ドラマでは、土曜ワイド劇場、月曜ミステリー劇場など、いわゆる2時間ドラマでおなじみです！！



加藤 剛
(高野岩三郎)



穴戸 開
(白洲次郎)

※そのほかのキャストは追って決定します。

■撮影はいよいよ来月から水戸市(茨城県)深谷市(埼玉県)などでのロケをはじめ、東映撮影所でのセット撮影に入ります。■撮影スケジュールの詳細が決まりましたら、エキストラ出演者も後日募集する予定です。また、撮影見学会なども日程を調整中です。

またお知らせしますが、ホームページの情報もご覧下さい。
⇒ <http://www.cinema-indies.co.jp/aozora/>

映画「日本の青空」製作委員会
事務局：〒104-0045 東京都中央区築地 2-10-4-8F(有)インディーズ内
TEL:03-3524-1565 FAX:03-3549-0617 info@cinema-indies.co.jp

日本国憲法の原案を作った鈴木安蔵(小高町出身)が主人公

劇映画「日本の青空」のキャスト決定！

◇このほど事務局に、右のような映画「日本の青空」製作ニュースのハガキが届きました。十六日付「福島民友」にも大きく掲載されましたが、鈴木安蔵役に高橋和也、妻には美しい藤谷美紀、ベテランで「大岡越前」の加藤剛などのキャストで、何かしら心強い、いい映画になりそうな予感があります。また、相模地区高校生のエキストラ出演の予定もあります。◇吉田茂のフライングで語学力にすぐれマッカーサーを叱りとばしたという外交官、白洲次郎(役・穴戸開)については、今日二十五日(水)夜十時からのNHK「日本の歴史」で放映されます。

製作協力券(一枚千円・入場券)の頒布も順調です！

相馬市長さんも賛同、一口百枚を購入されました

◇「プロダクション」が市民運動として製作する映画なので、数億円の製作費を全国からの浄財でまかなって作るのがこの「日本の青空」です。静岡大での安蔵の教え子が多い静岡県をはじめ、千葉県、山梨県などが大口で支援しているそうです。一口とは、千円の協力券が百枚ですから十万円単位になります。◇安蔵の出身地の「小高」、安蔵が卒業した相馬中学校(相馬高校)の「相馬」でも、私たち「はらまち」の九条の会でもそれぞれ協力券の頒布を通じ、安蔵の偉業を再認識しているところ。皆様にも協力券の購入のご支援をいただいています。さらに拡大頒布にご協力ください。

